

主な財政指標

積立金現在高の増加により、将来負担比率が8.2%改善！

1.実質公債費比率（3 か年平均）

令和6年度	10.3%
令和5年度	9.0%
前年度比較	1.3%

※一般会計等が負担する公債費及び公債費に準ずるものの標準財政規模に占める割合を表したもので、前3か年の平均値を用いる。起債の許可制限に関する指数（普通会計＋公営企業＋一部事務組合）です。

●18%以上になると起債許可団体となり、公債費負担適正化計画を策定し、公債費負担の改善に努めなければなりません。

2.将来負担比率

令和6年度	22.8%
令和5年度	31.0%
前年度比較	▲8.2%

※市が将来負担しなければならない債務が、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表したものです。

3.地方債現在高

令和6年度	117億5,817万円
令和5年度	114億7,256万円
前年度比較	2億8,561万円

※地方債とは、地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務で、その履行が一会計年度を超えて行われるものをいいます。地方債現在高とは、特定資金公共投資事業債を除いた地方公共団体の借入額をいいます。

4.積立金現在高（普通会計の基金残高）

令和6年度	39億6,746万円
令和5年度	37億2,509万円
前年度比較	2億4,237万円

※積立金現在高とは財政調整基金（使途は制約されず、財源不足の時に、年度間の不均等を調整する為の基金）とその他の目的基金（特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て又は定額の資金運用する為に設けられる資金又は財産）の現在高のことです。

5.財政力指数（3 か年平均）

令和6年度	0.28%
令和5年度	0.28%
前年度比較	0.00

※基準財政収入額を基準財政需要額で割った値のことで、指数が1に近く1を超えるほど財源に余裕があるとされます。

6.標準財政規模

令和6年度	68億 446万円
令和5年度	66億1,909万円
前年度比較	1億8,537万円

※市の一般財源の標準規模を示すもので、地方公共団体に通常収入されると考えられる経常的一般財源の規模を示す指標のことです。

各会計予算の執行状況

一般会計

予算現額	179億3,032万円	収入率：96.6%
歳入決算額	173億1,655万円	執行率：93.5%
歳出決算額	167億5,742万円	

国民健康保険特別会計

【事業勘定】

予算現額	22億5,609万円	収入率：97.8%
歳入決算額	22億 684万円	執行率：94.9%
歳出決算額	21億4,042万円	

【中央診療所施設勘定】

予算現額	3億8,968万円	収入率：98.4%
歳入決算額	3億8,362万円	執行率：91.3%
歳出決算額	3億5,585万円	

介護保険特別会計

予算現額	2億7,451万円	収入率：100.2%
歳入決算額	2億7,514万円	執行率：97.6%
歳出決算額	2億6,779万円	

後期高齢者医療保険特別会計

予算現額	2億7,451万円	収入率：100%
歳入決算額	2億7,514万円	執行率：97.6%
歳出決算額	2億6,779万円	

簡易水道事業会計

【収益的収入及び支出】		
予算現額	2億4,638万円	収入率：112.7%
歳入決算額	2億7,764万円	執行率：106.9%
歳出決算額	2億6,340万円	

農業集落排水事業会計

【収益的収入及び支出】		
予算現額	7,626万円	収入率：105.0%
歳入決算額	8,010万円	執行率：98.3%
歳出決算額	7,497万円	

定例会のあらまし
9月定例会は9月8日から9月30日までの23日間開かれ、令和6年度決算の審議が行われ、全会一致で認定しました。
また、令和7年度補正予算5件、条例の制定3件、契約の締結1件、教育委員会委員1名の任命と農業委員会委員1名の任命、人権擁護委員の1名を同意しました。

市債(借金)と基金(預金)の状況

人口：13,230人(令和7年9月1日時点)

市債(借金)…(一般会計)

117億5,817万円
前年度比 2億8,561万円 ↑
市民一人当たり 88万8,750円

基金(預金)…(一般会計と特別会計の合計)

39億6,742万円
前年度比 2億4,237万円 ↑
市民一人当たり 29万9,884円

【資本的収入及び支出】

1億5,664万円
1億5,360万円 収入率：98.1%
1億5,633万円 執行率：99.8%

【資本的収入及び支出】

4,428万円
4,017万円 収入率：90.7%
4,272万円 執行率：96.5%

総括質疑

議長(菅野修一)と決算特別委員長(安井一義)は、役職の立場上質疑できません。

令和6年度 一般会計・特別会計・事業会計をチェック 予算は有効に使われたか？

尾花沢市の 消防水利状況

【菅藤昌己】

Q 消火栓、消防水利状況で私有地に設置しているのはどれくらいあるか。契約行為はどのようなになっているか。

A 消火栓55か所のうち、民有地が381ヶ所ある。率にして72・5%である。防火水槽は、340ヶ所のうち281ヶ所が民有地である。率にして82・6%である。土地の賃借契約は結んでいる。防火水槽は、坪200円で契約し、消火栓は無償である。今後は、近隣市町を調査して、検討していく。



老朽空き家 除却事業

【畑中和恵】

Q 老朽空き家除却事業は7年度で3年目となる。事業の継続とあわせて補助金の増額の考えは。

A 物価上昇に伴い、解体工事についても高騰してきていると認識している。しっかりと事業の検証を行い、より充実した事業になるよう検討していく。



除雪サービス 事業

【高橋隆雄】

Q 対象となる方の除雪依頼に対応できているか。

A 尾花沢市シルバーク人材センターが主な委託先であり、また事前に登録された団体や個人において受託者として集落内の除雪を委託している。利用者の希望するタイミングでの除雪は難しい状況にあるが、日程調整等で除雪作業に当たっている。



ふるさと暮らし 応援事業

【菅野喜昭】

Q 移住者の世帯数及び人数は。事業の成果等はどうなっているか。

A 令和6年度の移住世帯数及び人数は、31世帯35人となっている。成果については、第7次総合振興計画『あのまちで暮らし』の移住推進プロジェクトでは、令和3年度から7年度までの5か年計画で、100世帯の移住を目標としていた。令和6年度末までに114世帯が移住しており、すでに目標を達成している。

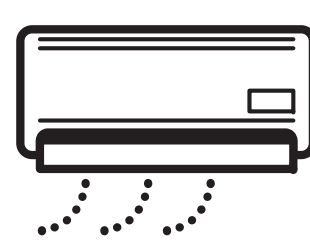


住宅リフォーム 支援事業補助金

【和田 哲】

Q エアコン設置工事を対象とした交付件数を伺う。また、リフォーム需要の変化に対する今後の予算措置などをどう考えるか。

A エアコン設置件数は31件で、昨今の猛暑の影響を受け伸びてきている。リフォーム全体の需要が増加していると考えられ、今後の予算措置については、申請状況等を踏まえ、県予算の要求も含めて対応していきたい。



6次産業化総合 支援事業費補助金

【星川 薫】

Q 尾花沢のお土産と言えこれというものではない。私たちが是非作っていただきたい。私は、スイカバームクーヘンが一番魅力ある商品になると考えるが。

A 令和4年度に尾花沢のお土産として産品の加工品を目指して制作したバームクーヘンである。この商品は尾花沢をイメージした素晴らしい商品だったと思う。是非、手ごろに買える値段でもう一度チャレンジしたい。



家計応援 ごつつお券事業

【土屋範晃】

Q ごつつお券の使用率が予算額の半分未満と低かった理由と余剰財源の使途は。

A 利用できる店舗が飲食店に限られていたことや、車の移動ができない人の利用が伸び悩んだ影響があったと分析している。余剰財源については、物価高騰対策として、利用範囲を拡大した「おばね暮らし応援券事業」に活用し、約8割の利用があった。

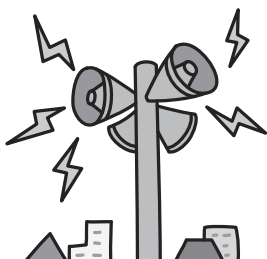


防災行政無線 整備事業

【鈴木由美子】

Q 令和6年度は78万円の整備事業。これまで多額の予算を投じているが運用に際し、状況にあった正確な情報伝達に努めているか。また、行政情報の発信で有効活用はどうか。

A 災害・防災情報以外の情報伝達は運用に適さない。



クラブ活動の 地域移行

【伊藤 浩】

Q 昨年度からクラブ活動の地域移行に伴い、実証事業が行われているが、その中でどんな課題が見えて来ているのか。また部活動への加入率はどうか。

A 課題は大きく二つあると考えている。一つは尾花沢市の部活動基本方針に沿った活動が行われる事と公平な部活動ができる環境づくりである。現在の加入率は72・7%となっている。



病児病後児 保育

【青野隆二】

Q 運営費は480万円で、年間利用者数は14名と低い。登録者の理解をいただきながら広域利用に移行してはどうか。

A 尾花沢の施設を利用している方がいる限りは、聞くまでもなく方向転換する考えはない。



きこえはつきり 事業補助金

【鈴木 清】

Q 令和6年度は20万円の決算となったが、申請は何人どのような声が寄せられているか。上限を4万円まで検討してはどうか。

A 申請は10人。2万円の補助で20万円となった。補聴器の購入補助は大変喜ばれている。補聴器は高額のため上限4万円も今後検討したい。



新町消防団

【大類好彦】

Q 消防団員の維持確保と新町消防団の現状はどうか。

A 新町消防団員は、9月1日付で経験者7人、未経験者1人の合計8人に入団届を頂いた。今後とも消防団員の確保に尽力していく。



第2 分科会

福祉・農業
産業・道路
保健・医療など

委員の紹介

委員長 菅藤 昌己
副委員長 菅野 喜昭
菅野 修一
大類 好彦
伊藤 浩
安井 一義
鈴木由美子

決算を徹底審査

第1 分科会

税金・財政
くらし・教育
防災・消防など

委員の紹介

委員長 畑中 和恵
副委員長 青野 隆一
鈴木 清
星川 薫
和田 哲
高橋 隆雄
土屋 範晃

決算特別委員会には、9月16日に常任委員会を母体とした2つの分科会が設置された。各分科会では、令和6年度決算議案について詳細な審査が行われ、委員からは活発な質疑や意見が出された。

総務課 本市の課題解決

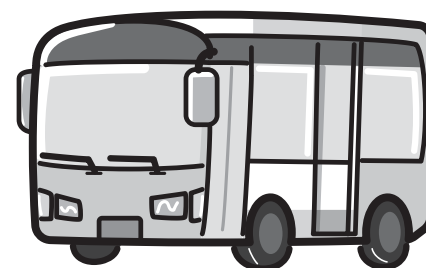
職員の政策課題等先進地研修の詳細な説明を受けた。本市の政策課題の解決に向けて継続した活用と職員のワークライフバランスを推進し、健康管理に配慮されるよう要望した。

防災危機管理課 空き家の除排雪

空き家除排雪・雪下ろし委託料について詳細な説明を受け、空き家の所有者にできる限り費用の請求及び回収に努めること。統合小学校開校に合わせ変更となる通学路周辺の危険空き家の把握に努めるよう要望した。

市民税務課 地域の公共交通

大石田駅通学線運行業務委託料について詳細な説明を受け、多様化した生徒のライフスタイルに合わせ、土曜日の運行や平日の時間帯の増便について要望した。



福祉課 高齢者等買い物支援

買い物困難者がでないように、利用者の拡大を推進するため周知を図られるよう要望した。

福祉課 高齢者除雪サービス

豪雪対策本部の設置に伴い除雪券を10枚追加交付し50枚としたところであり、利便性を考慮した除雪サービス事業を要望した。

健康増進課 北村山公立病院組合負担金

3市1町の負担率は地域割・人口割・利用率割の基準により算定する旨の説明を受

け、負担軽減を図られるよう要望した。

環境エネルギー課 浄化槽設置整備事業補助金

詳細な説明を受け、了承したところであるが、制度の周知を図られるよう要望した。

農林課 尾花沢牛振興協議会負担金

『雪降り和牛』の目指す方向について質したところ、尾花沢牛取扱店の拡大などの取り組みについて説明を受け了承し、海外への輸出を目指すにあたって、山形食肉公社の施設整備の課題解決にむけ県へ働きかけるよう要望した。

総合政策課 ふるさと大使事業

さらなる交流人口の拡大を目指し、新たなふるさと大使の任命について検討するよう要望した。

定住応援課 ふるさと暮らし応援事業

新築住宅等への助成だけでなく、空き家を活用した場合の助成を盛り込むなどの制度の拡充について検討されるよう要望した。

消防本部 消防施設

消防団に配備されている小型ポンプ積載車の需要の高まりや耐用年数等を考慮しながら年次計画を組み、随時更新すると説明を受け了承した。

こども教育課 統合小学校

近年の気候変動の影響でプール学習の休止等が増えていると説明を受け、統合小学校

農林課 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣が増加しており、ロボットを導入した先進地を視察するなど調査研究を要望した。



商工観光課 企業対策費

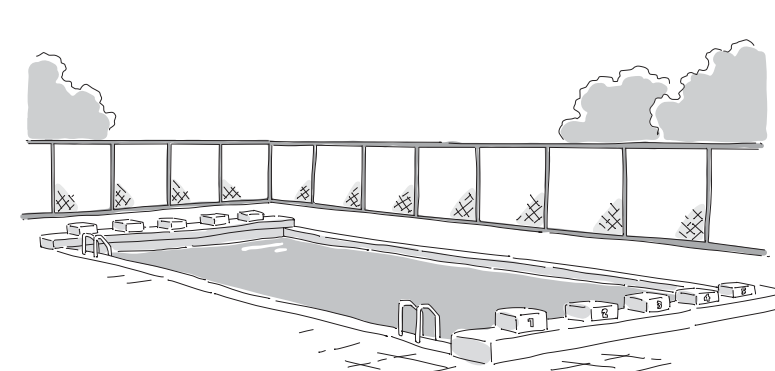
中学生建設業体験会運営業務委託料と企業視察会バス送迎委託料について説明を受け、引き続き若者の地元定着に向けて、企業への理解促進が図られるよう要望した。

建設課 排雪作業

排雪で排雪場所の道路が混雑するので、排雪車の効率的な排雪方法と新たな排雪場所の確保について要望した。

社会教育課 地区公民館

今後、小学校が統合されることにより、各地区公民館の役割がさらに重要になってくることから、集落支援員の配置や活用について検討するよう要望した。



においては気候に左右されないプールの建設を検討するよう要望した。

特別会計 国民健康保険

事業勘定

市税等収納対策部会で管理職との連携や一斉徴収により、国保税の収納率が向上したとの報告を受け、更なる収納率をアップが図られるように要望した。

施設勘定

中央診療所について、公的医療機関の役割を担うために、早急に常勤医師の確保が図られるよう要望した。

水道事業会計 老朽管布設替え

石綿管等の老朽化による漏水が多いことについて説明を受け、布設替え工事を計画的に進められるよう要望した。



令和7年度 補正予算

好調！ふるさと納税、 統合小学校開校に向

特定地域づくり事業の開始と けた道路の安全対策などを補正

補正予算の一覧

区 分	補 正 額	補正後の予算額
一般会計（第5号補正）	15億1,535万7千円	187億7,896万2千円
一般会計（第6号補正）	▲2,699万3千円	187億5,196万9千円
国民健康保険特別会計（第1号）		
事業勘定	393万2千円	18億7,646万6千円
中央診療所施設勘定	777万3千円	4億 854万7千円
介護保険特別会計（第1号）	4,838万4千円	19億8,971万9千円
後期高齢者医療保険特別会計（第1号）	5万6千円	2億6,713万0千円

一般会計（第5号補正予算）の主な事業 全会一致で可決

特定地域づくり事業

480万9千円

本市における若者の定着と人手不足の解消を図るため、市外から働き手を呼び込むとともに、市内から働き手が流出せぬよう、安定した雇用の受け皿となる「特定地域づくり事業協同組合」を設立し、人手不足に悩む市内企業等へ働き手を派遣する。

ふるさと尾花沢応援基金事業

7億5,989万8千円

ふるさと納税の寄附件数が増加していることから、令和7年度の寄附額を約20億円と見込み、返礼品等の経費を補正するもの。



尾花沢墓園法面強化工事

950万円

尾花沢墓園における雪崩の防止と緩和を目的として、法面に雪崩防止杭を設置するもの。

商業店舗活性化補助金

434万円

商業振興を目的とした従来の店舗の新規出店や改装への支援のほか、火災や自然災害により被災した商業店舗の営業再開を支援するため補助金を交付するもの。

除排雪経費

2億2,600万円

冬期間における道路の除排雪経費を補正計上。

工業団地内市道雪押場整備事業

390万円

福原工業団地内に雪押場を整備することで、企業の経済活動の安定を図るもの。用地測量及び補償費算定のための予算を計上。

社会資本整備総合交付金事業

1億円

統合小学校の開校に向け、児童が安全に通学できるよう、歩道部に車両侵入を阻止するためのボラードを設置する予算を計上。

橋梁改修・補修工事

5,000万円

行沢橋架け替に伴う路線測量設計費等を追加し、詳細設計を発注する予算を計上したもの。

学習情報センター施設整備、修繕事業

1億1,770万円

学習情報センターの中央監視装置を更新することで、館内の空調・電気・警報設備の機能改善を図るための予算を計上。

一般会計（第6号補正予算）の主な事業 賛成多数で可決

新町中央付近火災撤去工事

▲3,124万3千円

令和7年5月29日に発生した新町中央付近火災により生じた焼損建物のがれきについて、事業の決算額に合わせて予算を減額するもの。

福祉灯油購入助成事業

425万円

原油価格の高騰を踏まえ、低所得世帯の冬期間の経済的負担の軽減を図るため、本市に住所を有し、現に居住する単身高齢者世帯などの世帯を対象に、灯油購入に要する費用の一部を助成するもの。

賛否状況（賛成…○、反対…×）

青野 隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋 範晃	鈴木 清	大類 好彦	菅藤 昌己	畑中 和恵	高橋 隆雄	安井 一義	菅野 喜昭	和田 哲	星川 薫	菅野 修一
×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

➡ **賛成9、反対4により、賛成多数で可決されました。**

令和7年9月定例会 議案一覧

議案番号	審議内容	審議結果
認第1号	令和6年度尾花沢市一般会計歳入歳出決算認定	認定 (全会一致)
認第2号	令和6年度尾花沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	
認第3号	令和6年度尾花沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	
認第4号	令和6年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定	
認第5号	令和6年度尾花沢市簡易水道事業会計決算認定	
認第6号	令和6年度尾花沢市農業集落排水事業会計決算認定	
議第33号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第5号)	可決 (全会一致)
議第34号	令和7年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
議第35号	令和7年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議第36号	令和7年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)	
議第37号	尾花沢市議会議員及び尾花沢市長の選挙における選挙運動に要する費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第38号	尾花沢市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	
議第39号	尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	同意 (全会一致)
議第40号	尾花沢市教育委員会委員の任命	
議第41号	人権擁護委員の推薦	
議第42号	令和7年度尾花沢市一般会計補正予算(第6号)	可決 (賛成9、反対4)
議第43号	GIGAスクール端末更新購入契約の締結	可決 (全会一致)
議第44号	尾花沢市農業委員会委員の任命	同意 (全会一致)

令和7年10月臨時会 議案一覧

議案番号	審議した議案等	審議結果
議第45号	尾花沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	可決 (全会一致)
議第46号	【債務負担行為】令和7～9年度 尾花沢市立尾花沢小学校新設工事請負契約の締結	可決 (賛成8、反対5)

議第46号議案の賛否状況

青野 隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋 範晃	鈴木 清	大類 好彦	菅藤 昌己	畑中 和恵	高橋 隆雄	安井 一義	菅野 喜昭	和田 哲	星川 薫	菅野 修一
×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

8対5 賛成多数！

「認第1号 令和6年度尾花沢市一般会計歳入歳出決算認定」に対する 附帯決議動議

統合小学校建設用地造成工事の進め方について、定例監査において契約管理上の指摘がなされている。本市の将来を託す大規模事業でありながら、議会への説明や情報共有の在り方について、配慮を欠く場面が見受けられた。今後の事務執行に際し、関係法令や条例などを遵守するとともに、市民や議会に対してより丁寧な説明責任を果たされるよう要望する。

提案に反対



高橋 隆雄 議員

同事業については、決算特別委員会第1分科会において「適正な事務処理に努められるよう要望した」という報告が既になされており、附帯は必要なしと判断する。
 しかしながら、今回の学校建設の件は混乱を招いたことに違いない。議員各位が市政運営に係る重要な意思決定と行政執行に対する監視機能をこれまで以上に襟を正して努めていかなければならず、それが市議会議員の職責だと思っている。
 これから行われる統合小学校建設工事の再入札の報告において、状況に応じて附帯決議案の提出を考えていることから、この度の附帯決議案には反対する。

賛否状況（附帯決議案を提出することに 賛成…○ 反対…×

青野 隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋 範晃	鈴木 清	大類 好彦	菅藤 昌己	畑中 和恵	高橋 隆雄	安井 一義	菅野 喜昭	和田 哲	星川 薫	菅野 修一
○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長

5対8 賛成少数！ よって、附帯決議は**否決**されました。

10月臨時会

尾花沢小学校新設建設工事契約を締結！ 契約額57億8600万円

「議第46号 【債務負担行為】令和7～9年度 尾花沢市立尾花沢小学校新設工事請負契約の締結について」に対する 附帯決議動議

統合小学校の造成工事において、あまりにも不透明な事務執行を行ったことにより、住民監査請求を受けた。また、入札が遅れた経緯も議会に報告がなく、工期の問題等について疑念を払拭できない。現在、訴訟にも発展しており、当局の説明責任は当然の義務であり、怠ってはならないことである。市長、副市長、教育長は、執行状況を把握するとともに、建設状況等を議会へ適宜報告し、議決を得ることが必然である。未来ある子どもたちのためにも、つまづくことなく令和10年の開校に向けて建設を遂行していただくことを要望する。

星川 薫 議員

賛否状況（附帯決議案を提出することに 賛成…○ 反対…×

青野 隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋 範晃	鈴木 清	大類 好彦	菅藤 昌己	畑中 和恵	高橋 隆雄	安井 一義	菅野 喜昭	和田 哲	星川 薫	菅野 修一
×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

7対6 賛成多数！ 附帯決議は**可決**されました。

よりよい尾花沢市を目指して！

7人の議員は こう質^{ただ}した！

令和7年9月定例会 一般質問

※青文字タイトルが掲載

鈴木由美子	① 企業振興のありかた 2 「LaLaネット」ふれあい推進事業
星川薫	① 流雪溝の水量を管理システム化 2 地域おこし協力隊による事業継承
畑中和恵	1 学びの多様化 ② 消防力の充実強化
土屋範晃	① 市内中心部への誘客 2 徳良湖の桜のライトアップ

菅藤昌己	1 子宮がん検診及び風疹の予防接種 2 統合小学校開校延期に伴う影響と対策 ③ 中央診療所のありかた 4 道路の維持管理
鈴木清	1 検証・少子化対策 ② ワクワクする統合小学校建設に
青野隆一	1 要援護者名簿の整備 2 統合小学校建設 ③ 新町中央商店街の大規模火災の対応

質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

広域組合議会の報告

北村山公立病院組合議会

第2回定例会

1 北村山公立病院組合議会は、第2回定例会を7月30日、東根市議場で開催し、令和6年度事業会計決算及び同病院職員の子児休業等に関する条例改正の2議案を原案通り認定・可決し、閉会した。

2 概要

(1) 令和6年度は、4億2479万円の純損益を計上した。未処理欠損金は、累計47億6441万円となった。これは人件費増や物価高騰等が原因。

利用状況は、

入院患者数が延べ77868人（前年度比、2732人増）外来患者数が延べ94200人（同3240人増）だった。

24年度 3市1町の負担金額

市町名	負担金
東根市	5億9,552万円
村山市	3億2,917万円
尾花沢市	1億5,871万円
大石田町	7,141万円

第1回臨時会

1 北村山公立病院組合議会は、9月1日、第1回臨時会を東根市議場で開催し、関連条例の改正案等4議案を原案通り可決・同意し、閉会した。

2 概要

(1) 病床数を300床から10床削減し、290床に変更した。これは、赤字経営の公立病院も、国の病床数支援事業を活用すると、補助金の支給対象に加えられるため、上限の10床分の削減を届け出たもので、1床当たり410万4千円が支給される。

(2) 東根、尾花沢両市議会の選出議員変更に伴い議長選を行い、議長に東根市議会議長の高橋鉄夫氏を選出した。議会運営委員は東根市議の東海林克彦氏、尾花沢市議の菅野喜昭氏を選出し、東海林氏を副委員長に互選した。監査委員に尾花沢市議会議長の菅野修一氏を選任した。

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会

正副議長、各正副委員長決まる

令和7年8月21日、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合の臨時議会が開催され、正副議長が選任され、各正副委員長が互選された。

一般会計補正予算（第1号）、水道事業会計補正予算（第1号）の議案が審議され、原案のとおり可決された。

◇議長 星川 薫

副議長 村形 昌一

水道常任委員会

委員長 芳賀 清

副委員長 青野 隆一

衛生常任委員会

委員長 鈴木由美子

副委員長 川崎 義治

議会運営委員会

委員長 鈴木由美子

副委員長 川崎 義治

問 企業の課題と伴走支援とは

答 労働力の確保が課題である

問 ハローワーク村山管内の雇用情勢を見ると正社員有効求人倍率は依然不安定だ。本市景気の状態や設備投資、雇用の増減をどう把握しているか。

答 製造業においては、大規模な投資を計画する企業も複数見られる。

雇用の増減は把握していない。
問 3月定例会で20・30代の若手の働き手が不足しているとの答弁があり、企業の約9割が人材不足を課題としているとのこと。生産要員なのか。技術・管理系の正社員に成り得る人材不足か。国制度認定への働きかけや取り組み状況は。

答 研修会及び北村山雇用対策協議会やハローワークと連携し、企業と求職者のマッチングに努めている。国の認定制度の認知度は十分でない上、取得要件が中小企業には負担。取り組み易い「やまが

たスマイル企業」には8社認定。

問 人材確保の戦略的支援策として、目的を明確にした「企業研修支援型地域おこし協力隊」「企業雇用型地域おこし協力隊」の募集はどうか。岡山県西粟倉村や福島県飯館村、酒田市などから本市導入に向け視察し学ぶことが必要だ。来年度予算に反映頂くことを提案したい。

答 特に視察の予算は無くてもインターネットを活用し内容を調べられる。



鈴木由美子議員

動画はこちら



まちの存続に直結する課題！必死に取り組むべき



畑中 和恵議員

動画はこちら



意識向上のためにも、こちらから働きかけを！

問 消防水利マップ作成すべき

答 紙台帳の電子化を推進する

問 市民の皆さんが安全で安心できる地域づくりのために、いつでもどこでも誰でもわかるような消防水利マップを作成し、市公式ホームページや防災アプリで周知してはいかがか。

答 「地域防災力の強化」として「地区住民の災害対応能力の向上」や「自主防災組織の育成強化」を掲げている。防災マップは自主防災組織の皆さんで、地区内の消火栓や防火水槽の位置を確認しながら自ら作成していた

だくことが防災組織の向上につながるものと考えている。しかしながら地区民の減少や高齢化も考慮し、消防本部において紙台帳によ

り管理されている消火栓及び防火水槽などの消防設備の位置を電子化することについては、今年度より運用を開始している「WEB版ハザードマップ」に表記することを視野に検討していく。



尾花沢市若葉町周辺 消火栓配置図



星川 薫議員

動画はこちら



市民に頼れる流雪溝管理を

問 流雪溝の水量を管理システム化

答 全国初に向かっていく

問 流雪溝のどの路線にどれだけの水量があるのかは目視確認による管理であり、市民からは、水が来ない、流量が少ないなどの苦情が絶えない状況である

答 ことから、路線の流量が一目で分かるようにデジタル計測を行い、システム管理化を図ることを推奨する。

答 安定した流雪溝の管理のためには、十分

な流量の確保が必要不可欠である。引き続き新たな水利の確保に努めていくとともに、デジタル技術の活用についても、活用方法や導入費用、活用可能な財源など調査研究していく。



量水標による流量目視

問 快適な街中散策への投資を

答 関係団体と協議し支援する

問 賑わいを創出するためには、その場所に人を留め置くことが必要である。トイレを備え、飲食や着替えのほか、横になって休むことができるような休憩場所を設けることは、来訪者の滞留拠点となり、滞在時間や活動範囲の拡大に寄与すると

答 休憩可能な施設には、市役所や活性化センター、資料館や観光物産協会などがある。その他、店舗前にベンチを設置している商店など、おもてなしに努められている。

問 中心部に駐車場が



一目で分かる休憩所が点在する金山町

答 単純に開放することとは困難であるが、通り抜けについては検討したい。



土屋 範晃議員

動画はこちら



来る理由はある。迎え入れる体制の整備を

問 中央診療所の今後のあり方は

答 常勤医師の確保に全力を尽くす

問 公的な診療所としての意義はなにか。

答 地域医療の拠点として地域包括支援センターの一翼を担い在宅診療等の充実など市民のニーズに沿った診療体制の構築が重要。

問 診療所の職員や患者が不安を持っている。将来のビジョンを示す



菅藤 昌己議員



動画はこちら

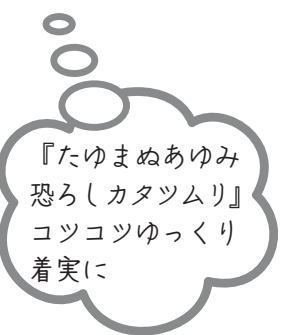


べきである。

答 令和5年に診療所の将来ビジョンを策定した。現在の常勤医師一人体制では、一人への依存度が高く、医師の確保が喫緊の課題となっており、関係機関への要望や依頼活動を行っている。

問 令和6年度の市から診療所の特別会計への繰り出し金と一人当たりの額がどれくらいか。

答 財源補填分として年々増加しており1億4千9百万円一人当たり1万7千円の繰り出しをしている。将来にわたり、持続可能な診療所運営のために、診療収入による収益の確保、運営経費の最適化など経営基盤の強化をより一層進めていく必要がある。



青野 隆一議員



動画はこちら

問 新町中央火災への対応は？

答 公費負担の要綱を整備する

問 消火活動に十分な水を確保するため、防火水槽や消火栓を設置する予算を増額すべきではないか。

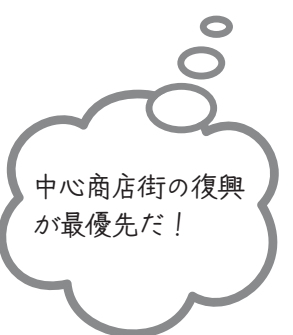
答 本市の消防水利の充足率は、全国平均よりも高い状況にある。しかし、多くが民地に設置しているため、地区民のご理解をいただきながら整備を進めたい。

問 消火栓などの位置がわかる「各地区防災マップ」作成の進捗状況はいかがか。

答 若葉町自主防災組織で作成、全戸配布を



9/29 新町火災復興策について消防長と意見交換



問 この度の火災は、消防組織法第40条の消防長官への報告基準に相当する前代未聞の大

火災である。これを特例要件として、がれき撤去工事費については、できる限り公費負担とする要綱を作成すべきではないか。

答 災害救助法が適用されない場合でも対応できるように要綱の整備を進めている。

問 防災公園や防災センターとしての公的整備をする考えはないか。

答 当該エリアの活用について、個々の思いを十分尊重ししっかりと対応したい。

問 ワクワクする統合小学校建設を

答 不安をなくし魅力を伝える広報に努めたい

問 保護者・住民説明会で「出生数減や後年度負担を軽くするため、コンパクトな設計を」

「子供と教育を第一に考えてほしい」の意見があった。コンパクト化の要望にどう答えるか。

答 開校時の児童数は375人・13学級となる。交流棟の見直しはせず、放課後児童クラブ・多目的ルーム・家庭科室・音楽室などを配置する。

問 本市最後の統合小学校建設に、保護者と市民の願いが託されて

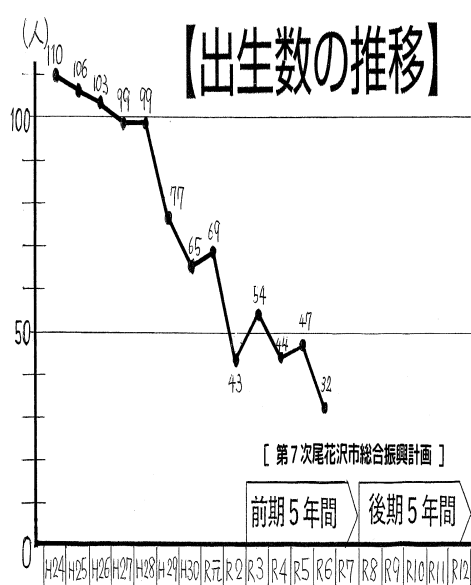


鈴木 清議員



動画はこちら

少子化でも、ワクワクする学校建設になりますように



答 スムーズに統合ができるよう準備を進めている。小規模校同士の宿泊学習や各小学校

同士の交流学習を検討している。どんな教育や学校になるのか、市民に魅力を伝える方法は、市報・ホームページ・統合だより・統合小学校建設だより・輝け！おぼねっ子等で、新たな学校への期待感を高めるよう、情報提供に努めて参りたい。

傍聴者の声



活発な議論を拝見し、感動している。

今後も熱く討論してください！

学校建設に関して、もっと分かりやすく答えてほしい。

尾花沢の良さを表現できる子供に育ててほしい。

12月定例会の一般質問は、12/4、12/5の予定です。ぜひ議場に傍聴にいらしてください。

傍聴された方の人数

日付	人数
9月10日	3人
9月12日	2人
9月16日	11人
9月22日	2人
9月26日	1人
合計	19人

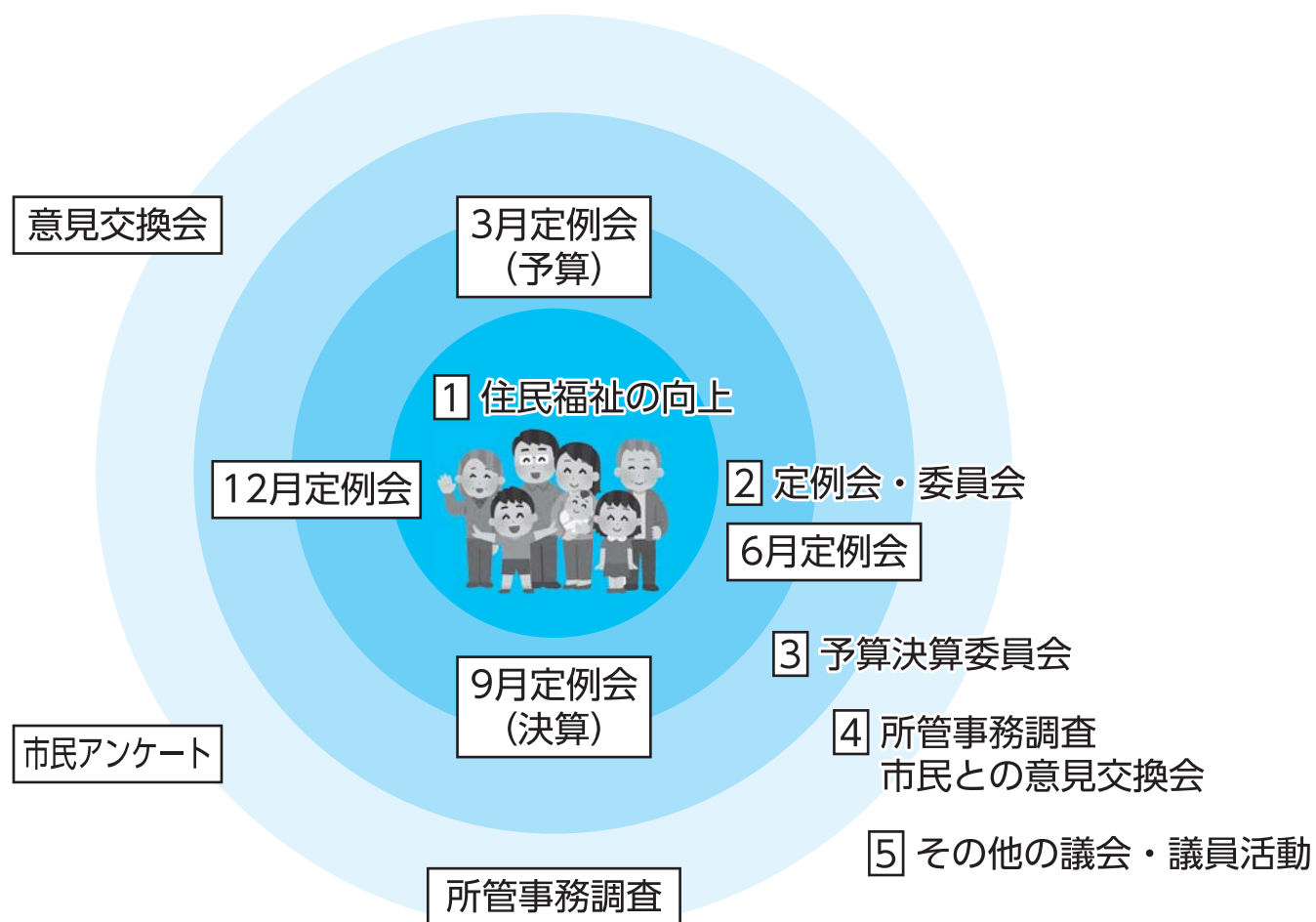
3つの作業部会が始動しました

議会改革推進委員会 委員長
和田 哲

私たち議員14人は、直接選挙によって選ばれた責務を担い、より良い尾花沢を目指すため、議会改革推進委員会を常設し、議会組織等の改善・改革に励んでいます。

やるべき課題は多いですが着実に前進するためにも、現在は、テーマを絞って3つの作業部会を編成し必要な研究・調査の実施や提案に取り組んでいるところです。テーマは「情報の発信」「議員の定数と報酬」「基本条例の検証」ですが、具体的な作業状況については各部会長の報告をご覧ください。

引き続き不断の議会改革に励んでまいりますので、今後とも市民の皆様からのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【市民の声を起点に政策サイクルへ】

1. 定数・報酬部会 部会長 星川 薫 後続く議員の担い手のためにも

尾花沢市議会では、現在、市議会議員の定数について議論を進めています。議員定数については9月に市民アンケートを実施しており、今後アンケート結果を集約し議員間により協議していく予定であります。

議員報酬については、平成9年以降28年間、審議検討がなされないまま今に至っており、昨今の物価高騰や議員活動における会議及び各種行事の増など様々な要因があり、適正なる報酬について要望書を提出したいと考えております。

2. 情報発信部会 部会長 畑中 和恵 市民への情報共有をどう工夫するか

情報発信部会では友好都市である岩沼市議会に視察し、安全にfacebookを活用した取り組みについてご教示いただきました。運用開始までの検討状況と、利用規約などこれから本市議会がSNSによる情報発信を行う上で大いに参考になる内容でありました。議会・議員の活動の透明性を図るためにも、まずやってみることが肝要です。今後は安全性に配慮した規約作りに取り組んでまいります。

3. 基本条例検証作業部会 部会長 鈴木 清 基本条例を検証し、どう議会改革を進めるか

尾花沢市議会基本条例は、令和5年6月5日に制定されました。基本条例は、制定して終わりではなく、その成果や課題を検証することが、議会活動の質の向上にとって大切です。この部会では、検証の仕方について他議会を視察し、調査研究を行い、実施要綱・検証シートなどを提案してまいります。